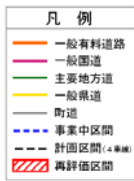


再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名：地域高規格道路 佐賀唐津道路 一般国道203号 蔽木バイパス		事業：一般国道 区分：	事業：国土交通省 主体：九州地方整備局
起終点：自：佐賀県唐津市相知町長部田 至：佐賀県唐津市蔽木町中島		延長：6.3km	
事業概要：蔽木バイパスは、当該地域の唯一の幹線道路となっている国道203号の代替路としての機能を有し、国道203号の交通渋滞の解消・緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善などに寄与する。さらに佐賀唐津道路を構成する一区間として、広域的な交流・連携の支援などに寄与する。			
S59年度事業化	H年度都市計画決定 (H年度変更)	S61年度用地着手	S63年度工事着手
全体事業費	422億円	事業進捗率	68%
計画交通量	31,000 ~ 32,100 台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.4	総費用 (残事業/事業全体) 90/515億円 (事業費：74/479億円 維持管理費：16/36億円)	総便益 (残事業/事業全体) 407/707億円 (走行時間短縮便益：346/610億円 走行費用減少便益：34/58億円 交通事故減少便益：27/39億円)
	(残事業) 4.5		
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.0 (交通量+10%) B/C=4.1 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.2 (事業費+10%) B/C=4.9 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=3.7 (事業期間+20%) B/C=5.2 (事業期間-20%)			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道の渋滞損失時間の削減が見込まれる） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） ・地球環境の保全（CO2排出削減量：2,380t-Co2/年） 他10項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 唐津市をはじめとする沿線の首長等で構成される国道203号佐賀・唐津幹線道路整備促進期成会により早期整備の要望を受けている。（平成19年8月21日）			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・沿線地域の人口は減少傾向にあるものの、自動車保有台数は増加しており自動車依存が高まっている。 ・国道203号の交通量も増加し、未供用区間の現道では恒常的な交通混雑が発生するとともに、交通安全性も損なわれている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は事業費ベースで68%、うち用地進捗は98%である。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収の難航、ハヤブサの営巣地発見に伴う調査及び保全対策の検討のため事業が遅延。今後も、蔽木バイパス全線暫定供用に向け、未供用区間（長部田IC～岩屋IC）の早期整備に努める。			
施設の構造や工法の変更等 これまでに橋梁から盛土構造への変更（約113百万円）、橋長縮小および橋種見直し（約38百万円）によるコスト縮減を図っており、引き続き事業実施にあたっては、新技術・新工法の積極的な活用、建設副産物対策による着実なコスト縮減を図ることとしている。			
対応方針：事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。